

研究実施のお知らせ

2022年12月16日 ver.1.0

2024年3月21日 ver.2.0

2024年4月22日 ver.3.0

研究課題名

原発性副甲状腺機能亢進症に合併する腎機能障害に関する因子の後方視的研究

研究の対象となる方

2012年1月から2022年1月の間に島根大学医学部附属病院内分泌代謝内科に入院し、原発性副甲状腺機能亢進症と診断された方

研究の目的・意義

原発性副甲状腺機能亢進症は、副甲状腺の異常により、副甲状腺ホルモンが過剰に分泌され、高カルシウム血症をきたす疾患です。原発性副甲状腺機能亢進症の合併症は多彩で腎石灰化、尿路結石、腎機能障害、骨粗鬆症などがありますが、最近、原発性副甲状腺機能亢進症診断時の腎機能低下 (eGFR<60mL/min/1.73m²)が副甲状腺摘除術後の予後予測因子であると報告されました。このことから、原発性副甲状腺機能亢進症診断時の腎機能障害に関する因子を明らかにすることで、どのような患者で予後が悪いのかを解明する契機とすることができると考えています。予後規定因子である腎障害をきたしうる患者さんに対して効率的かつ予防的に早期介入することで、原発性副甲状腺機能亢進症の予後改善が期待できる可能性があります。

研究の方法

単機関後方視的研究

カルテより後方視的に当科で入院した原発性副甲状腺機能亢進症患者さんの性別、年齢、身長、体重、血圧(収縮期・拡張期)、血液ガス、一般生化学指標、投薬内容、CT画像などを抽出し、原発性副甲状腺機能亢進症の診断時の腎機能低下に関する因子について解析・検討します。

当科では2018年5月9日より内分泌代謝疾患の研究、臨床応用を目的とした「内分泌代謝疾患克服の研究基盤としてバイオリソースバンクの構築（研究管理番号：20180417-1）」の先行研究を行っています。この先行研究に同意頂いた患者のみを対象に入院時、血清保存を行っており、本研究ではその既存試料を用いて腫瘍壊死

因子受容体（TNFR：tumor necrosis factor receptor）を測定し、腎機能低下に関連するか解析します。TNFR の測定のために順天堂大学に冷凍輸送します。その際にはあなたのお名前やカルテ番号等の個人が特定できる情報は検体にはつけません。検査後に残った検体は廃棄されます。

研究の期間

2023年6月15日～2025年5月

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。また、結果の透明性の確保のため、解析に用いた個別データを公開する可能性もありますが、その際にあなたのお名前など個人を識別できる情報を使用することはありません。

研究組織

この研究は次の機関が行います。

研究責任者：

島根大学医学部内科学講座内科学第一 矢本琢真

研究協力機関（TNFR 測定機関）

[機関] 順天堂大学医学部腎臓内科学講座 合田朋仁

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2024年12月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部内科学講座内科学第一学 矢本琢真

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2183 FAX 0853-20-8650